



大多田橋梁？架かった



西宝橋橋梁撤去された



生瀬水管橋橋脚根巻復旧工事の様様



生瀬橋上流右岸高水護岸大型ブロック工事。



3号床止め工改修。古いブロックを活かして施工されている。



武庫大橋下流側。スッキリしたけど風景の単調さは否めない

城山トンネルの舗装工事もあり照明とサイン関連工事を残すのみ。トンネル入り口にネームプレートが取り付けられ、工事名：名塩道 城山トンネル工事。構造物諸元にトンネル延長311mと記載されているが、トンネルの扁額は無いが、城山地区切土工事のお知らせには「生瀬トンネル」と表記されていた、青葉台自治会掲示板に「名塩道路城山地区切土工事」のお知らせの掲示板に、工事区域の図面を添えて「JR 福知山線の切土路面及び関西電力鉄塔に近接した工事であるため切土施工時に落成防護対策が必要になります。令和5年4月6日より伐採作業に着手します」と有った。城山の緑が剥ぎ取られ大型ブロック山になってしまうらしい。生瀬水管橋橋脚根巻復旧工事は、以前の状態に戻す工事のようで景観が大きく変わることはないと思うが、生瀬橋上流護岸の大型ブロック化をはじめ、現行整備計画で改修された区域全てにおいて、自然が作り上げた複雑な景観が人工的で単純な景観に変わり、城山トンネルが生瀬トンネルに名称を変えるなど、引き継ぐべき文化遺産消滅しないか気掛かりになる。